



かかわりのコツ

How do we build a therapeutic relationship?

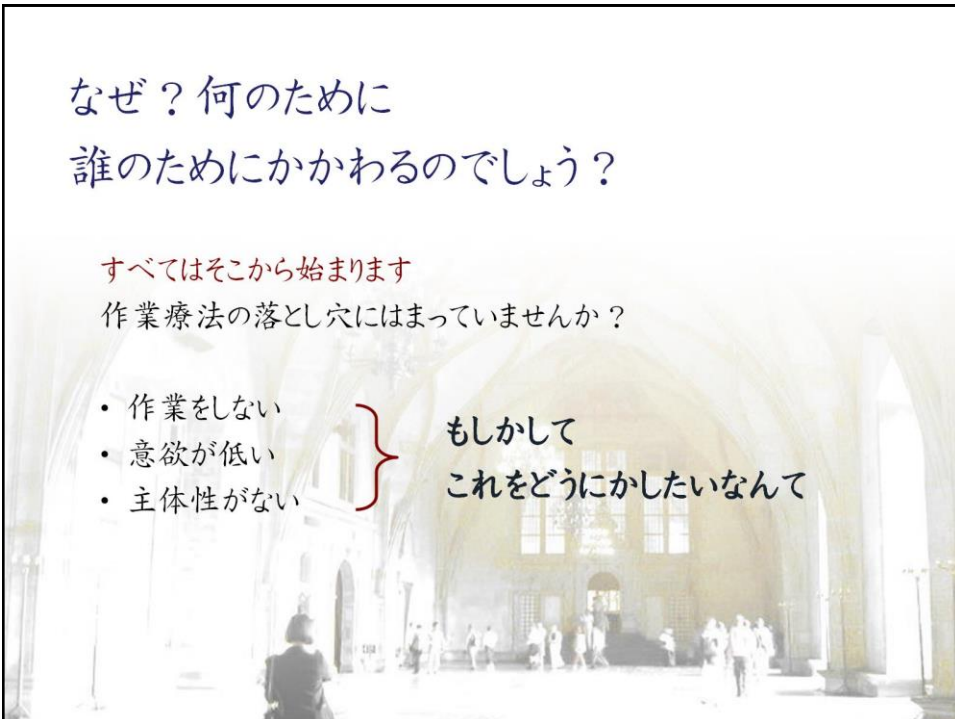
*Hiroshi Yamane ; OTR, PhD
Human Health Science
Graduate School of Medicine Kyoto University*

なぜ？何のために
誰のためにかかわるのでしょうか？

すべてはそこから始まります
作業療法の落とし穴にはまっていませんか？

- 作業をしない
- 意欲が低い
- 主体性がない

もしかして
これをどうにかしたいなんて



もう一度原点に戻ってみましょう

- 作業をしない
- 意欲が低い
- 主体性がない



その原因がわからなければ
かかわりはすべていやな侵襲
まず病理特性,回復状態と
病者心理から見てみよう



病理特性:精神認知機能の状態とレベル
回復段階:心身の機能と覚醒レベル
病者心理:自分と自分がおかれている状態の受容

急性期であれば

- 作業をしない
- 意欲が低い
- 主体性がない



のが普通ですね
まず必要なことは何でしょう



安心・安全の提供,不安を取り除く → 早期心理教育
病状の軽減と現実感回復 } 急性期リハ
基本的な身体機能の回復

長期入院であれば

- ・ 作業をしない
- ・ 意欲が低い
- ・ 主体性がない



先の見通しがいいなかで
できる方がおかしくないですか



生活機能と環境因子、個人因子すべての見なおし
リハの方向性のカンファレンス
基本方針の合意と限界設定



具体性実効性

閉鎖病棟が生活の場になり、二十年になるという人がおられました。家はあるが、自分が帰る家はもうない。入院当初には、年に一度くらいあった面接や外泊も、両親が亡くなってからは途絶えたといいます。

ここで暮らして

ここで暮らして二十年

この置一枚が

私の居場所

もう夢も見ません

ここで暮らして二十年

家？

家はありませんが

もう帰る家はありません

ここで暮らして二十年

鉄の格子の向こうの

桜の花が

二十度咲いて

二十度散りました

ここで暮らして二十年

ここで寝て

ここで起きて

あの桜の木の下で

花見をする。こともなく

『作業療法の詩・ふたたび』青海社

拒否・拒絶があれば

- 作業をしない
- 意欲が低い
- 主体性がない



なにか理由があります



拒否・拒絶は意志の発露

治療の重要なきっかけ
しっかりと気持ちを聴く

病理の問題であれば

- 作業をしない
- 意欲が低い
- 主体性がない



作業が不安・困惑の原因？



まず 不参加の保障から

ダブルバインドになっていませんか？

- 作業をしない
- 意欲が低い
- 主体性がない



どうしていいか分からないのでは



責任をとる誘いかけ



補助自我として
仮自我として

本当に必要なことなら

- 作業をしない
- 意欲が低い
- 主体性がない



入院時に説明と同意を



治療として必要なことなら、まず行ってもらいましょう

なぜ？何のために
誰のためにかかわるのでしょうか？

知ろうとしている
この人のことを
わたしは
知ろうとしている
なぜつて
.....??
それは
わたしが
この人に
してもよいことを
知るため
しなくてもよいことを
知るため
しなればならないことを
知るため
わたしが
知ること
始まる
かわり

治療・援助における評価の基本原則

『作業療法の詩・ふたたび』青海社

まず
双方の準備の整いができていますか？

心澄まし
目を澄まし
耳を澄まし
五感を澄まし
身体を澄まし
こころの整い
からだの整いを
心を澄まして待つ
見えるものを
見えるままに
目を澄まして
観る
語られることを
語られるままに
耳を澄まして
聴く
観えたもの
聴こえたものを
五感を澄まして
感じとる

面接や観察は、たとえ評価尺度があったとしても、
関与する者の主観的選択や尺度がフィルター

- ・ 個人的価値観をできるだけ少なくする

『作業療法の詩・ふたたび』青海社

聴くちから

きもちを整え
きもちを抑え
ただ耳をかたむけ
語られることを待つ

どうにもならない思いを
話すことで離し
聴いてもらえて放れる

聴くことが
どうにもならない思いを
離して 放し
こころの荷を
少し軽くする

話を聴く それは

胸の内に溜まった思いを

話し
離し
放す

} カタルシス

『作業療法の詩・ふたたび』青海社

そして

まなざすちから

ひとに傷つき
病いに傷つき
深く堅く
閉ざされたところから

希望をもち
しずかに
やさしく

あたたかく

そつとまなざす

そのまなざしが

一人ではない

見捨てられていない

という思いをもたらす

ひとのまなざしが

ひとに傷つき

病いに傷つき

深く堅く

閉ざされた

ところを聞く

からだを聞く

予期せぬ病いや障害を受けとめきれずに、戸惑い迷う人、望みをあきらめた人にとって、他者からのまなざしは、視線による被曝のように、病む者の心を痛めることがある。喪失感から心の閉ざしを強めることがある。そうした心を閉ざして身を護る人に、侵襲することのないあたたかな関心を秘めた「まなざし」は、自分が一人ではない、見捨てられていないという思いを生む。

『治療・援助における二つのコミュニケーション』三輪書店

まなざし

観せて待つことです

観せて待つ
 伝えられない
 伝わらない
 治療と援助のはじまりは
 互いの期待を映した
 誤解にはじまる
 理解と共同作業への道
 伝えられない
 伝わらないとき
 ただ耳をかたむけ
 聴いて待ち
 ただ耳をかたむけ
 観せて待つ

治療・援助関係においては、対象者に不毛な「待つ」ことを
 させずに、の対象者の心の準備を待つ。

- ・ 観せて待つ
- ・ 整いを待つ

『作業療法の詩・ふたたび』青海社

さあ

かかわりを始めよう

ふれる
 そつと
 しずかに
 ふれてみる
 それは
 少し固さをともなう
 かもしれない
 始まりはいつもそう
 かかわりは
 ふれて始まる
 まなざしでふれ
 言葉でふれ
 手でふれる
 そして
 確かな望みをもつて
 そつと
 やさしく
 しっかりと
 ふれる

ひとが人にかかわる
 それが治療であっても、支援であっても

- ・ かかわりは侵襲
- ・ 中途半端なかかわりはしない

『作業療法の詩・ふたたび』青海社

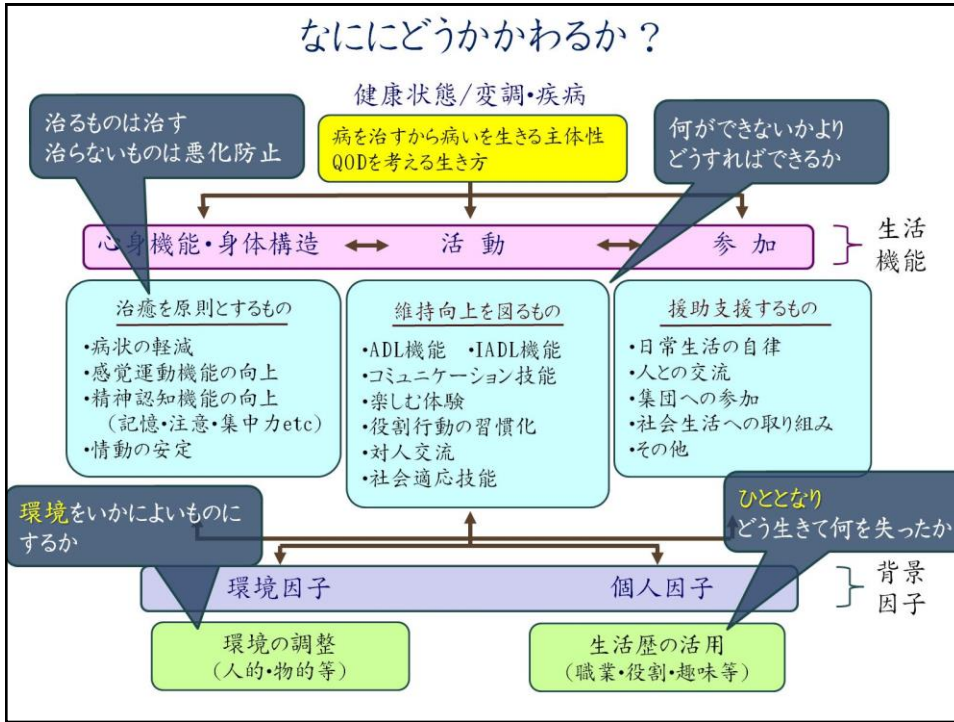
確かなかわりは
ことばを手渡して始まる

そつと
 近づき
 目を合わせ
 整いをまつ
 受け取ってもらえる
 整いができたら
 手わたせる
 量と速さ
 順序と間合いに
 気を配り
 そつと手わたす
 大切なものを
 手わたすように
 大切なことばを
 落とさないよう
 大切なことばが
 こぼれないよう
 やさしく
 そつと
 ことばを手わたす

『作業療法の詩・ふたたび』青海社

精神科作業療法かわりの特性

何にどうかかわるのか？
 何を媒介にかかわるのか？
 作業の特性を生かしたかわりって？
 精神科作業療法とは？



かかわりの媒介

言語体系	音声言語(話しことば)	直接的会話	直接会ってする対面会話
		間接的会話	電話などの機器を介した会話
	文字言語(書きことば)	筆談, 文字ボード, 電子メール, 指文字など	
	記号(表象されたことば)	モールス符号, 点字, 手話, シンボル, 手旗など	
非言語体系	パラ言語(ことばの表情)	大小, 強弱, 高低, 速さと変化 間合い, テンポと変化, リズム, 抑揚 語気(語調) ことばの量 ことばの連続性(流ちょう性) ことばの肌理	
	身体表象(からだの表情)	身体的特徴 身体的概観 身体加工 顔 目 動作・行動 接触行為 自律神経系	体型, 体格, 容姿, 頭髪, 体臭, 肌の色, 匂いなど 年齢, 性別, 体型, 背丈, 皮膚, 髪など 化粧, 髪型, 整形, タトゥーなど 顔立ち, 表情 視線, アイコンタクト, まなざし 姿勢, 身振り手振り, 態度, 動作, 行動 なでる, 打つ, 抱く, 触れる, 握手など 瞳孔, 心拍, 血圧, 消化系, 排尿, 呼吸, 発汗などの変化
	物(拡張した自我)	身につける物 創作物	服装, 装身具, 匂い 所有物, 使用物(道具, 材料, 物品など) 絵画, 音楽, 手工芸品など

作業療法の特性を生かしたかわりを

	種類	介入手段	特性
薬物療法 ECT		薬物 電氣的刺激	} <i>physial</i>
精神療法	[精神分析療法 小精神療法 一般精神療法 認知療法 行動療法 (家族療法)]	言語	
作業療法		[作業 + 言語]	} <i>non-human non-verbal + verbal</i>

薬物やECTのような身体療法は生理的侵襲性のリスク, 言語を主媒介とする精神療法は対人的な侵襲性のリスクが伴う
 作業療法は, **non-human non-verbal** な具体的な体験が媒介のため, その体験を生かす関与の仕方は問われるが対人的侵襲性は低い

精神科作業療法とは

特性	対象の状態とニーズに応じて組み替えるシステムプログラム
役割	生活機能評価(心身機能, 活動状態, 生活環境, 他) 生活支援機能(病状の軽減, リハディネス, 生活技能の学習・汎化, リハビリ支援, 他)
機能	ことばと作業により脳機能を糾す 具体的な目的行動・体験による自己認識と行動変容, 再学習
手段	生活行為, 創作表現活動, 身体活動, 他
領域	医療, 保健, 福祉, 教育, 就労, 他

具体的な生活行為を介して生活機能評価をし、
 病状の軽減を図り、リハができる状態にして早期退院(リハディネス)



クリティカルパス パラレルな場の熟成 早期退院サポートシステム

意欲や主体性は

- 育てるものではない
- 引き出すものでもない



意欲や主体性は奪わないもの

たとえば「何もできない、でも何かしないと落ち着かない」



ピンポン球大の粘土の塊
「何も作らなくていいので、この粘土をできるだけ薄くおなじ厚さになるようにしてみましょう」

特定の脳機能課題

- 新しい知識や技術、作業遂行時に判断を要さない
- 手順が明確
- 適度な繰り返しとリズム



指先で粘土を摘むという単純な動作の繰り返し、粘土を薄くおなじ厚さにする(特定の脳機能課題)ための手指の屈伸にともなう深部覚、触覚からの感覚(身体の使用に伴う現実的感覚刺激)に意識が向けられる。



自分の身体から生じる現実的な感覚が脳にフィードバックされ、運動企画が見直され手指の動きが修正される。そのシンプルで感覚のフィードバックによる修正を繰り返すことだけが、必要な脳機能課題が遂行される。





「何も作らなくていいので、この粘土をできるだけ薄くおなじ厚さになるようにしてみましょう」という課題に、手指の屈伸にともなう深部覚、触覚からの感覚（身体の使用に伴う現実的感覚刺激）だけに意識が向けられる。単純であるが、常に感覚情報をフィードバックし運動企画を修正する繰り返し作業に脳が使われる。

作品を作るためではない作業の結果としてできたものを素焼きにし、釉をかけて焼く。


たとえば「何もする気が起きない、したくない」



手で一握りできるくらいの粘土を手渡します



粘土の片方が握った親指と人差し指から2~3cm頭が出るようにします



ギュッと握ってもらいます



握った粘土の底の部分をトントンたたいて据わりをよくします。そして、その粘土をゆっくりと回しながら正面を決め、正面が決まったら、頭の部分をつまんだり指を押しつけて耳や鼻を作り、目や口を竹串で描きます。

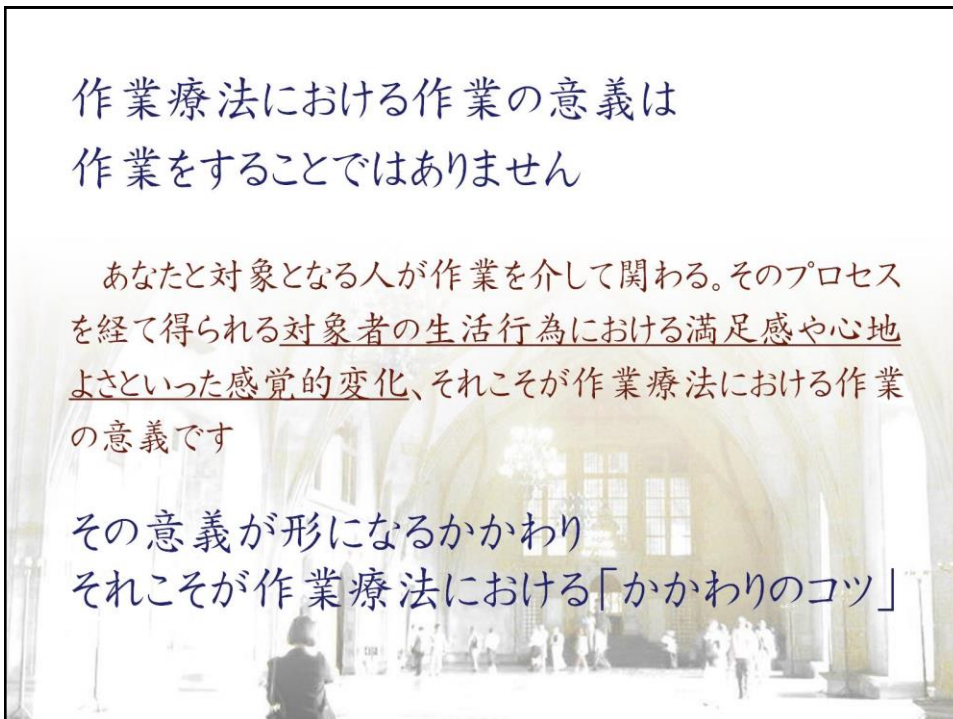
何もする気がないと言って見ていた人が、いつの間にか粘土を握っていた。
そんな思わず手を出してみたいくなる状況をつくるのも作業療法



作業療法における作業の意義は 作業をすることではありません

あなたと対象となる人が作業を介して関わる。そのプロセスを経て得られる対象者の生活行為における満足感や心地よさといった感覚的变化、それこそが作業療法における作業の意義です

その意義が形になるかわり
それこそが作業療法における「かかわりのコツ」



ひとの惑いに
 かかわる者に
 求められるのは
 賢しき
 知識より
 ひととしての
 深み
 ひとの痛み
 にかかわる者に
 求められるのは
 賢しき
 理性より
 ひととしての
 深み
 ひとの暮らしに
 かかわる者に
 求められるのは
 賢しき
 聡明さより
 ひととしての
 深み

作業を楽しむ 作業することを楽しくするには
 作業療法士が生活を楽しむことができることが必要



話の中に出た詩が載っている本



最近の言葉



あなたが

こころの車いす

くらしの杖

あなたは *barefoot doctor*

あなたが *soul support*

ともに作業することを楽しみましょう



Ed-Hyama